

# CEREMONY

## 式典・講演

### 30周年セレモニー&シンポジウム 「ファーレ立川アートの30年」

30周年記念セレモニーとシンポジウムを開催。登壇は本紙にもコメントをお寄せいただいたアートディレクター・北川フラムさん、ファーレ立川アート管理委員会委員長・川口哲生さんほか。パブリックアートに造詣が深い有識者の方をお招きし、今までの30年とこれからのファーレ立川アートのあり方について意見交換をします。

📅10月11日(金)午後6時45分～8時30分(午後6時開場)📍女性総合センター1階ホール👤100人(申込順)📄電子申請で



# DRAMA

## 朗読劇

### 市民創作台本×舞台俳優による朗読劇！ 『ゼロとイチのはがまのTACHIKAWA』 『立川オーバーツーリズム』

立川シアタープロジェクト事業のひとつ「市民創作ゼミ」から生まれた、ファーレ立川アートをモチーフとした2つの台本を、たちかわ創造舎の俳優と演出家が朗読劇にして上演します。  
📅10月13日(日)▶午前11時～午後1時▶午後3時～5時(いずれも2作品を上演)📍女性総合センター1階ホール👤160人(申込順)📅10月8日(火)〔必着〕までに、「朗読劇参加希望」、希望日時、代表者氏名、参加人数、電話番号を、[電子申請](#)、はがきまたはEメールで



# WORKSHOP

## ワークショップ

いずれも直接会場へ📅10月13日(日)午前11時～午後4時(荒天中止)  
📍立川高島屋S.C.北側赤い植木鉢前

### ◀出現！みんなで作るもうひとつの植木鉢

石田倉庫アーティスト・増井のはらさんによるインスタレーション。ファーレ立川に1日だけ現れる「もうひとつの植木鉢」に紙のパーツを切って、貼って、みんなで作品を作ります。

### ▶アートの街をつくろう！

アール・ブリュット立川による屋外ワークショップ。薄い端材の板をパキッパキッと折る音を楽しみながら、板を積み上げたり、カラフルに染めたりしてオリジナルの「アートの街」をみんなで作ります。



# OTHERS

## その他

- オープン記念ツアー(全作品)・セレクトツアー(いずれも要申込)
  - コラボイベント「ロバとどびつきりフェスティバル」(要申込)
  - 「第10回ファーレ立川アート写真コンテスト」入賞作品展
  - 「小学校ファーレ立川アート鑑賞教室」報告展
  - 移動ブックカフェ「マルベリーフィールド BOOK CAFÉ CARAVAN」
  - 30周年記念グッズや期間限定コラボデザートの販売
- ◀『プリーフケースを持った男』にちなんだチョコレートパイ。アダムスオーサムパイ(緑町4-5コトブキヤビル2階)で販売



ファーレ街区を美術館に見立てて、さまざまなイベントを開催します。くわしくは「ファーレ立川アート管理委員会」のホームページをご覧ください。

📄📍 〓ファーレ立川アート管理委員会事務局(市地域文化課内)〔〒190-0022 錦町3-3-20 たましんRISURUホール2階〕内線4502 📧chiikibunka-t@city.tachikawa.lg.jp



# FARET TACHIKAWA ART 30th ANNIVERSARY



平成6年10月13日に完成してから今年で30周年となる「ファーレ立川」街区。パブリックアート「ファーレ立川アート」は、その街並みに溶け込みつつ独特な存在感を放っています。30周年の節目を機に、「アートのまち立川」を形作る日本有数のパブリックアート群の歴史をひもときます。

〓ファーレ立川アート管理委員会事務局(市地域文化課内)内線4502

ファーレ立川アートについてくわしくはこちら



# ORIGIN

## 成り立ち

「ファーレ立川」は、平成6年10月13日に、米軍基地跡地の再開発事業によって誕生しました。デパートや映画館、オフィスビルが立ち並ぶ5.9haの街区は、近隣商業施設とも相まって“立川のビジネスの中心地”を形成しています。

この「ファーレ立川」の評価を押し上げているのが、アートディレクター・北川フラムさんの指揮のもと設置された「ファーレ立川アート」です。36の国と地域からの92人の作家による109点のアートは、車止めやベンチなど“まちの機能をアート化”したものもあり、都市計画の観点からも高い評価を受けています。



設置当初の『サンデー・ジャック・アクバン』。周囲ではまだ街区の工事が行われています

当時の『オープンカフェテラス』。この後、周囲はモノレールや大型商業施設の開業など大きく変貌しますが、象徴的なこのアート作品は変わらずに続いていることがわかります



# RESTORE

## 修復

パブリックアートは、適切な維持管理を行わなければ劣化や破損により輝きを失ってしまいます。そこで、平成17年度・18年度、平成26年度・27年度に、官民連携で修復再生事業を実施しました。クラウドファンディングも活用して修復・清掃を行い、今に引き継いでいます。平成18年度の修復再生事業の完了を記念して、“110番目のアート作品”を公募、設置しました。次世代アート『「ファーレ立川の風」敬愛するJean-Pierre Raynaudに捧ぐ』は、その名やデザインが示す通り、ジャン＝ピエール・レイノー作『オープンカフェテラス』をオマージュしており、ファーレ立川を南北に貫くサンサンロードの南端をオリジナルが、北端をオマージュ作品が印象的に飾っています。



『「ファーレ立川の風」敬愛するJean-Pierre Raynaudに捧ぐ』



photo by Mao Yamamoto

## ファーレ立川の30年よせて ファーレ立川アートディレクター 北川フラム

世界36の国と地域からの92人の109点の作品が約6haのビル群の道、壁、車止め、ベンチ、散水栓、ツリーサークル、排気口等都市機能を持つアート作品として設置されて30年、アートは美術という妖精として人々に親しまれてきました。このパブリックアートは世界の芸術による都市づくりのモデルとして評価され、立川市や多摩地区が元気になる契機ともなっていますが、それはファーレ倶楽部やビルオーナーによる管理組合や立川市による息の長い活動のたまもでした。感謝です。今も、いろいろな土地で幼少の頃、若い時のファーレの記憶を多くの人から聞くことができます。世界を映し、都市機能をアート化し、楽しく巡れる街が時代の変化のなかでも親しまれることを願っています。



電子申請は、「立川市電子申請ポータルサイト」で申請できます(右2次元コードからアクセス可)

# トミュージアム・デー2024秋